

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	消化管腫瘍およびポリープ病変の臨床的および病理学的検討		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2021年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で大腸癌や大腸ポリープ（癌でないものを含む）による治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2000年1月1日 から 2017年8月31日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	第一内科、第二外科		
⑦ 研究責任者	氏名	伊藤浩史	所属 大学院医学系研究科 分子病理学
⑧ 使用する試料・情報等	手術や内視鏡切除術で摘出した組織で検査に用いられた後の残余組織		
⑨ 研究の概要	大腸癌の発生に関する研究です。大腸は1.5 mほどの長さがあり、口に近い部分と肛門に近い部分では、癌化の仕組みが異なると予想されています。癌においておよび前癌病変において腫瘍関連タンパク質の変化の頻度に差があるかどうかを明らかにするため、腫瘍発生に関わると予想されるBRAF変異蛋白やDNA複製の際のミスマッチ修復タンパク、細胞増殖関連蛋白などについて免疫染色法でタンパク発現の有無や強さを評価し、比較します。大腸癌で変異が予想されるBRAFとKRASに関して腫瘍細胞での変異の有無を調べます。分子病理学は免疫染色法と遺伝子変異調査を実施します。第一内科は主に、内視鏡的に切除された大腸ポリープ病変について臨床的な事項を検討し、第二外科は主に手術で切除された大腸癌について臨床的な事項を検討します。また、分子病理学教室で研究全体をまとめます。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017年12月27日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	分子病理学講座の科学研究費や受託研究事業によって得られた研究資金		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学大学院医学系研究科 分子病理学 担当者 小賀厚徳		
	電話	0836-22-2222	FAX 0836-22-2223

別添

研究組織

研究代表者：

山口大学大学院医学系研究科分子病理学 伊藤 浩史

研究参加施設と研究責任者

山口大学大学院医学系研究科 伊藤 浩史

山口大学医学部附属病院 橋本 真一